

「基本的考え方」策定に向けて(メモ)

平成 26 年 12 月 24 日(中西)

議論の項目について

1. 福島

何を学び、その結果をどう未来へ繋げるのか

⇒この4年近くで判ったことを憶測なしで科学的に捉えると共に、問題点を明らかにし、その解決へ向けた道筋を作る。

2. エネルギー

中長期的なエネルギー政策における原子力利用の位置づけとその明確化

⇒現状のみでなく将来の技術的な可能性も含めてあらゆるリスク評価をきちんと行いつつ議論を進める。

3. 放射線の利用

現状と将来へ向けた更なる活用の可能性の明確化

工業利用、医学利用、農業利用
研究-最先端研究の推進

4. 廃棄物

どう取り組むのか

⇒原発利用と廃棄物処理の問題を国民全体の問題として議論を高めていく
必要性がある。

再利用-地に足のついた技術開発

5. 原子力・放射線の理解・意識の共有

今後の原子力利用における最も重要な課題のひとつと捉え、憶測を廃し、可能な限り科学的な視点を基に議論する。

6. 人材育成：

必要な人材の専門性と規模

⇒原子力とその応用を支える幅広い専門分野の人材育成